

平成26年度

**全国学力・学習状況調査の
結果について**



海老名市立杉本小学校

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5
(資料) 指導や学習・生活習慣と学力との関係	P. 6



全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査（平成23年度は震災の関係で実施を中止）でしたが、昨年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・ 小学校第6学年
- ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

国語A・算数A（主として「知識」に関する問題）

国語B・算数B（主として「活用」に関する問題）

【中学校】

国語A・数学A（主として「知識」に関する問題）

国語B・数学B（主として「活用」に関する問題）

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

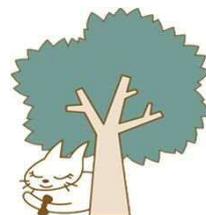
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成26年4月22日（火）



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- ・「話す・聞く能力」については、各領域の中でもよい結果でした。日頃から、聞き方・話し方を各学年に応じて指導していることが結果につながっています。
- ・物語の登場人物の相互関係を捉えたり、情景描写を正しく理解したりすることができています。日頃から、読書活動を推進していることが成果につながっています。
- ・話し合いの観点に基づいて情報を関係付けることができます。

《努力を要する所》

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む・正しく書くことに努力が必要です。
- ・故事成語やことわざの意味や使い方を理解し、生活の中で使うことなどに課題があります。
- ・複数の事柄を並列の関係で、「～たり、…たり」と文を書き直すことに慣れていません。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- ・わかったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書くことができます。
- ・詩の解釈による着眼点の違いを捉えることができます。
- ・課題を解決するために、目次や索引を活用して、本を効果的に読むことができます。
- ・目的に応じて話し合いの観点を整理することができます。

《努力を要する所》

- ・質問の意図を捉えることや二つの詩を比べて読み、表現の工夫を捉えることに課題があります。
- ・二つの詩を比べて読み、自分の考えを書くことについては、課題があります。この問題は、無解答率も高いです。
- ・質問の意図を捉えることが苦手です。

今後の具体的な取組

- ・すべての学習の基礎となる「読む・書く・話す」については、毎日の授業の中で繰り返し行うことで定着を図ります。
- ・朝読書の時間確保、内容について見直します。
- ・自分の考えを話す、書くことについては苦手意識を持っています。教科全般において、考え方を身に付けさせるために、自分の考えを書いたり、話し合ったりする活動を取り入れるなど、日常の指導を工夫していきます。



算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

【数量や図形についての技能】

- ・繰り上がりのある加法の計算をすることができます。
- ・被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができます。
- ・商が小数になる除法の計算をすることができます。
- ・異分母の分数の加法の計算をすることができます。

【数量や図形についての知識・理解】

- ・二つの数量の関係について、単位量当たりの大きさを調べる場面と図とを関連付けることができます。
- ・体積の単位と測定について理解しています。

《努力を要する所》

【数量や図形についての知識・理解】

- ・割合が小数のとき、比較量を(基準量)×(割合)で求めることに課題があります。
- ・コンパスを使った平行四辺形の作図に用いられている図形の約束や性質の理解に課題があります。

算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

【数量や図形についての技能】

- ・示された場面から計算の結果の見通しをもち、(2位数)×(1位数)の筆算をすることができます。
- ・示された場面から基準量と比較量を捉え倍を求めることができます。
- ・示された条件を基に、残った平面に4つの長方形を敷き詰めることができます。

《努力を要する所》

- ・選択する問題はよくできますが、考え方を記述する問題は努力を要します。

【数学的な考え方】

- ・示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述することに課題があります。
- ・示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述することに課題があります。
- ・示された情報を基に、条件に合う時間を求めることに課題があります。

今後の具体的な取組

- ・「基本的な数量や図形についての知識・技能」は、ドリル学習等を活用し、今後も繰り返すことにより定着を図ります。
- ・「数学的な考え方」においては知識・技能の定着の上に【図や式や言葉で理由を説明できる】【数値を根拠として説明できる】などの活用する力を高められるように指導の工夫・改善を図ります。
- ・校内研究(算数)を通し「互いに伝え合い考えを高め合う子の育成」をめざし、研究を継続して深めていきます。



児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- ・100%の児童が宿題に取り組んでいます。
- ・「総合的な学習の時間」では、課題について調べたり、まとめたりの学習活動に熱心に取り組んでいます。
- ・感想文や説明文など「書く」ことに抵抗を感じている児童は少ないです。
- ・多くの児童が好んで読書を読みます。

《課題と思われる所》

- ・宿題には100%の児童が取り組んでいますが、進んで予習や復習に取り組んでいる児童はあまりいません。
- ・授業中にわからないことがあっても、質問を躊躇しがちです。
- ・文章で解答する問題に対しては、全く解答しなかった児童もいます。
- ・多くの児童が解答に時間を要します。
- ・算数の勉強が大切だと感じているものの、あまり好きではありません。
- ・算数の学習では、さらに簡単な方法を考えたり、諦めずに色々な方法を導き出したりすることが苦手な傾向にあります。

生活について

《よかった所》

- ・96.3%の児童が、毎朝朝食を食べています。
- ・活動後、達成感や充実感を味わう経験をした児童が96.3%います。
- ・多くの児童が、自分自身の長所に気づき、肯定感を持つことができています。
- ・失敗を恐れずに物事に挑戦している児童が多くいます。
- ・92.6%の児童が将来の夢や目標をもって活動しています。

《課題と思われる所》

- ・半分以上の児童が人前で自分の考えを発表することを苦手と感じています。
- ・友達の意見を最後まで聞いたり、伝えたいことをうまく伝えたりすることが苦手です。
- ・読書は好きですが、学校図書館や地域の図書館はあまり利用していません。
- ・地域や社会で起こっている問題や出来事への関心が薄いです。
- ・テレビやインターネットでニュースを見ますが、新聞はあまり読んでいません。

今後の具体的な取組

- ・児童が学校生活を楽しいと感じ、生き生きと活動できるように工夫していきます。
- ・家庭学習の方法や内容を工夫し、予習復習の大切さについて指導します。
- ・主に、国語や総合的な学習の時間などを中心に、新聞を用いた授業を取り入れたり、新聞のよさについて考える時間を設けたりして、新聞に親しむ機会を設定します。
- ・蔵書を見直したり、図書支援員や図書ボランティアの活用により、学校図書館の利用が増えるようにします。
- ・分からないことをすぐに聞いたり、友達の前で堂々と意見を述べたりできる雰囲気のできる学級作りに努めます。
- ・友達の考えを最後まで聞く思いやりある態度を、道徳の時間や日常生活の中で培っていきます。



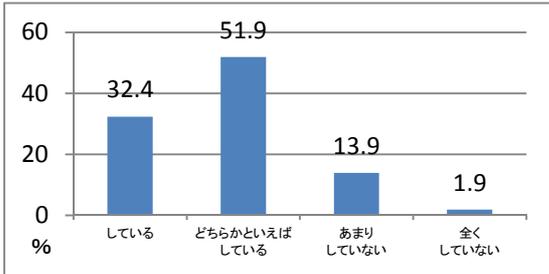
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい項目」をまとめました。ご家庭で振り返り、できることから、ぜひ、始めてみてください。

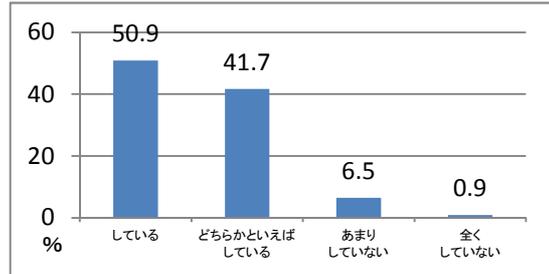
1 規則正しい生活習慣を大切にしましょう。

規則正しく生活していると答えている割合が多いですが、朝眠そうにしている子どもが増えてきています。夜の就寝時刻は遅くなってきていませんか。早寝早起きを心がけ、家庭内でも朝元気にあいさつをしましょう。

毎日、同じくらいの時間に寝ていますか



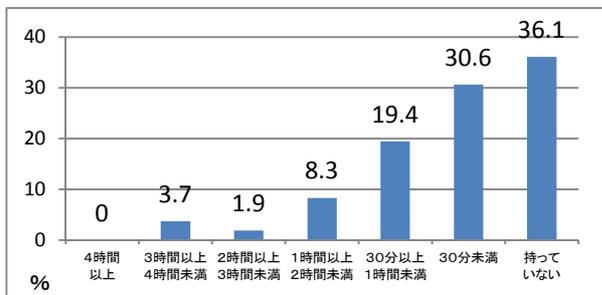
毎日、同じくらいの時間に起きていますか



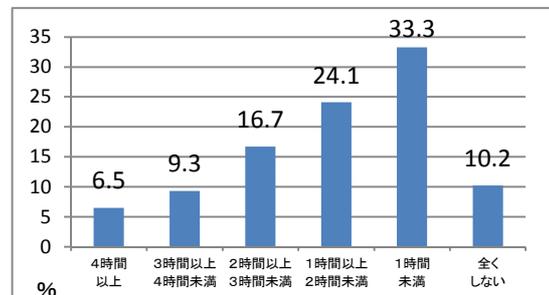
2 ルールを決めて使用しましょう。

調査した春に比べて、携帯電話やゲームの使用時間が長くなっていませんか。使用時間を決めて使わないとなかなかやめられないものです。インターネット(ゲーム、ソーシャルネットワークサービス、メールなど)でのトラブルにも気を付けましょう。定期的にご家庭で話し合い、ルールを見直しましょう。

普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか



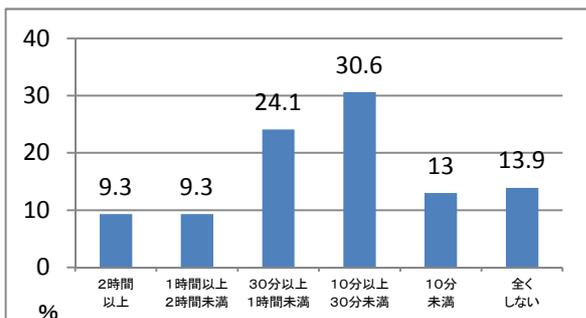
普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか



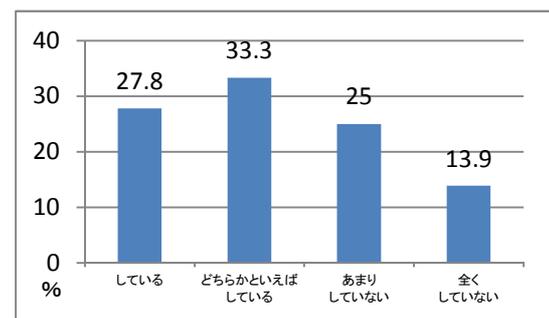
3 計画的に家庭学習に取り組みましょう。

読書を通して、他者の考え、意見、事実を知ることができます。読書の習慣化を図りましょう。また、自学自習の力を付けるために、計画を立てて実践する力を付けていきましょう。

学校の授業以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間読書を読みますか



家で、計画を立てて勉強をしていますか



資料

指導や学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ており、今後の指導や家庭・地域への呼びかけに生かして行きたいと考えています。

学校における指導と学力との関係

次のような指導を行った学校ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。
さらに、学習意欲や家庭での学習時間等についても高い傾向にある。
(教科に関する調査、学校質問紙調査より)

【指導方法・学習規律】

- ・ 学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞くなど)の維持徹底
- ・ 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導
- ・ 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与える
- ・ 本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導

【国語科・算数科の指導方法】

- ・ 発展的な学習の指導
- ・ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業、書く習慣を付ける授業、様々な文章を読む習慣を付ける授業
- ・ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業

【言語活動】

- ・ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付ける
- ・ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導
- ・ 発言や活動の時間を確保した授業
- ・ 学級やグループで話し合う活動
- ・ 資料を使って発表ができるよう指導
- ・ 自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導

【総合的な学習の時間】

- ・ 総合的な学習の時間における探究活動(課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導)

【家庭学習】

- ・ 調べたり文章を書いたりする宿題を与える

【研修】

- ・ 教職員が、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映

児童の学習・生活習慣と学力との関係

次のような児童ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。
(教科に関する調査、児童質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・ 国語、算数に対する関心・意欲・態度が高い

【家庭学習・読書】

- ・ 学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・ 自分で計画立てて勉強をする
- ・ 学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・ 読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【学校生活】

- ・ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- ・ 先生は、自分のよいところを認めてくれると思う

【基本的生活習慣】

- ・ 朝食を毎日食べる
- ・ 毎日、同じぐらいの時刻に寝る

【メディアとの関係】

- ・ 携帯電話やスマートフォンで通話・メール・インターネットをする時間が短い
- ・ テレビゲームをしている時間が短い

【家庭でのコミュニケーション等】

- ・ 家の人と学校での出来事について話をする
- ・ 家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【社会に対する興味・関心】

- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある
- ・ 新聞を読んでいる
- ・ テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る

【自尊意識・規範意識】

- ・ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・ 学校のきまり・規則を守っている
- ・ 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

「えびなっ子しあわせプラン」ってなあに？

「えびなっ子しあわせプラン」は今年度から平成28年度までの3年間の海老名市の教育プランです。

ひとりひとりの海老名の子どもが、将来、しあわせに生きるために必要な「3つの力」を小・中学校の義務教育9年間で、学校や家庭、地域の教育をとおして、確実に身につけることを目的としています。

◇◆しあわせに生きるために必要な「3つの力」◆◇

学 力

大人になっても学習をつづけるために
基礎的な学力と学習意欲を身につけよう！



.....
教員の授業力を高めます。（授業改善の取組）



.....
小中一貫教育を進めます。（試行校での研究）



.....
市費の教員やボランティアを配置します。

集団力

人間関係を作り、集団の中で自分の役割を果たし、
自分を生かす力を身につけよう！



.....
人間関係作りの学習計画を作成します。



.....
いじめや不登校の問題に積極的に取り組みます。

健康安全力

自分の健康や安全に気をつけて、
いつまでも楽しく生活する力を身につけよう！



.....
体力・運動能力の向上をめざします。



.....
自分の命を守るための学習計画を作成します。

学校と家庭と地域がスクラムを組んで子どもを支えます



みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

海老名市教育委員会



平成26年12月